

# 韓国の釜山港付近で、野生イノシシの アフリカ豚熱陽性が確認されました (釜山市内2例目)

1月14日に釜山広域市で捕獲された野生イノシシについて、アフリカ豚熱 (ASF) 陽性が確認されました (釜山市内2例目)。現在、韓国当局により発生地点の消毒や疫学調査が進められています。

本事例の確認地点は釜山港フェリー埠頭から数キロメートルと非常に近接しています。また、確認地点が市街地に囲まれた山であり、感染イノシシが移動するのは困難であること、1例目の確認地点から距離があることから、人・物の移動により同地域に侵入したと考えられます。

今後、春節も控えており人流の活発化が予想されるため、最大限の警戒が必要です。



養豚農家をはじめ畜産関係者の皆様方におかれましては、引き続き、飼養衛生管理基準の継続的な遵守と、下記重要ポイントを参考に、ウイルスの侵入防止対策の徹底をお願いします。

- アフリカ豚熱等の発生地域や非清浄地域への渡航自粛。
- やむを得ず渡航する場合には、農場等への立入を避け、帰国時には適切に、衣服や靴の消毒等を実施。
- 実習生を含む外国人従業員を受け入れている場合は、肉製品等が海外からの携帯品や国際郵便物等によって持ち込まれることがないよう、外国人従業員への周知を徹底する。
- 特定症状を呈している家畜を発見した場合には、家畜保健衛生所に速やかに通報する。